

ただいま上程されました議案の御説明を申し上げます前に、一言御報告を申し上げます。

議員各位には、先の選挙におきまして、多くの県民から信任を受けられ、めでたく当選の栄誉を得られました。ここに改めまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、今月8日、感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、大きな転換点を迎えたところであります。

県といたしましては、県民に対し、引き続き適切な情報提供等を行うとともに、身近な医療機関で必要な医療を受けられる体制の構築を進めるなど、県民の命と健康を守ることを最優先に、国や市町、関係機関等と連携し、感染状況等を踏まえながら、必要な対策を講じて参ります。

次に、栃木県誕生 150年の節目となる本年におきましては、記念式典等を6月10日に開催するとともに、栃木県の歩みをたどり、多彩な魅力を体感できるイベントや、「若者未来デザインフォーラム」など、本県の未来を担う若者に焦点を当てた企画等を年間を通して展開し、県民の郷土愛の醸成や地域の新たな活力の創出につなげて参ります。市町や企業・団体等にも様々な協賛行事を実施していただきながら、多くの県民の記憶に残る1年にして参りたいと考えております。

また、本県初の閣僚級国際会議であるG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催まで1か月余となりました。今月27日には、30日前記念イベントとして「G7栃木県・日光こども未来サ

ミット」を開催し、一層の機運醸成を図るとともに、国際社会に貢献できる人材の育成にもつなげて参ります。さらに、本県の魅力を伝える歓迎レセプションやエクスカーションなど、会合当日に向けた準備も鋭意進めているところであり、引き続き、大臣会合の成功に積極的に役割を果たしていくとともに、開催を契機として、男女が共に輝く“とちぎ”づくりに取り組んで参る考えであります。

次に、計画期間の中間年を迎えた「とちぎ未来創造プラン」につきましては、本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、重点戦略に掲げた各プロジェクトを着実に推進して参ります。

また、今年度は、県政を取り巻く新たな行政課題に効率的かつ効果的に対応すべく、組織改編を行ったところであります。いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機としたスポーツツーリズムの推進や共生社会の実現に努めるとともに、若者や女性のニーズをとらえた選ばれらとちぎづくりや、ポストコロナにおける本県産業の競争力強化、様々な分野におけるデジタルトランスフォーメーションの推進、条例制定を契機としたオールとちぎでのカーボンニュートラルの実現などに全庁一丸となって取り組んで参ります。

結びに、県政運営に当たりましては、市町や企業等とも連携・協働しながら、県民の負託にこたえるべく、とちぎの輝く未来創生に向けて、県民益の最大化に全力を傾注して参る所存であります。加えて、デジタル時代を踏まえた県政情報の積極的な発信等により、県政に対する県民の理解と参加が一層進み、県政がより身近なものとなるよう、

県議会とともに取り組んで参りたいと考えておりますので、議員各位の御理解と御支援をお願い申し上げます。

次に、議案の概要について御説明申し上げます。

今回提出いたしました議案は、第1号議案栃木県監査委員の選任同意についてであります。監査委員のうち県議会議員から選任される委員2名が欠員となっておりますので、白石資隆氏及び阿部寿一氏が最も適任と考え、その選任について同意を求めるものであります。

何とぞ、よろしく御審議の上、議決されますようお願い申し上げます。